



学会ニュースNO.4

懸賞論文

3月4日（水）、岡本キャンパスにて2019年度「甲南大学経済学会 学生懸賞論文」表彰式兼発表会が行われました。



～感想～

経済学を踏まえた上で、身の回りにある些細な問題に着目し筋道の通った仮説を検証することで、様々な角度から解決策を導いていることに感動しました。



2019年度「甲南大学経済学会 学生懸賞論文」審査結果

【特賞】

該当論文無し

【佳作】

尾田 直彌 他4名（中川ゼミナール）

「小学校教育におけるICTと教科担任制の効果の実証分析」

受賞論文及び以下の論文を『経済学 学生論集』に掲載いたします。

戸谷 優花 他1名 (市野ゼミナール)
「所得に影響を与える性格の細分化」

藤田 剛央 他4名 (中川ゼミナール)
「日本の男女雇用の格差・ワークライフバランスについての実証分析」

藤原 涼 他3名 (市野ゼミナール)
「買い物における後悔について」